

# 令和2年度 予算特集号

広報  
Ako City  
Public  
Relations



2020  
Special Number

令和2年4月10日発行



## 「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を目指して

- 令和2年度当初予算総額 516億7,544万円 ..... P 2～3
- 令和2年度一般会計当初予算総額 212億7,500万円 ..... P 4～5  
市民1人当たりの予算額
- 5本の柱ごとの主要施策 ..... P 6～15
- 写真で見る予算 ..... P 16



令和2年度当初予算額

516億7,544万円

●各会計別予算額

会計区分	令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	前年度比(%)	
一般会計	212億7,500万円	208億4,000万円	2.1	
特別会計	国民健康保険事業	52億6,300万円	51億7,600万円	1.7
	職員退職手当管理	3億7,200万円	4億5,280万円	△ 17.8
	墓地公園整備事業	770万円	770万円	—
	介護保険	46億8,000万円	44億2,360万円	5.8
	駐車場事業	1億2,840万円	1億3,100万円	△ 2.0
	後期高齢者医療保険	7億8,070万円	7億7,170万円	1.2
	小計	112億3,180万円	109億6,280万円	2.5
企業会計	病院事業	114億9,851万円	114億4,018万円	0.5
	介護老人保健施設事業	4億4,356万円	3億7,467万円	18.4
	水道事業	20億7,690万円	20億6,273万円	0.7
	下水道事業	51億4,967万円	54億5,311万円	△ 5.6
	小計	191億6,864万円	193億3,069万円	△ 0.8
合計	516億7,544万円	511億3,349万円	1.1	

費税増収分を活用した社会保障の充実、経済対策の着実な実行、歳出改革の取組の継続により、経済再生と財政健全化を両立する、総額約102兆6千5百億円の令和2年度一般会計予算が編成されたところです。

本市における財政状況は、歳出において、特別会計への繰出金や扶助費など

の社会保障関係費及び公債費が引き続き高い水準で推移する一方、歳入においては、消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金の平年度化による増収が見込まれるものの、市税をはじめとする一般財源収入の大きな伸びが見込めず、依然として基金を取り崩さざるを得ない厳しい財政環境に置か

れているところです。

このため、第8次赤穂市行政改革大綱に基づき、人口減少・少子高齢化の進展に伴う行政需要の変化に的確に対応した、効率的で効果的な事業の展開により、行財政体質の強化・充実と財源不足額の圧縮を図り、財政の健全性の確保に努めます。



「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を目指して



私が市長に就任してから1年余りが経過しました。この間、議員各位をはじめ



令和2年第1回赤穂市議会定例会において、新年度予算案をはじめとする諸議案が成立しました。2月25日に牟礼市長が表明した施政方針に沿って、主要な施策の概要と予算のあらましについてお知らせします。

市民の皆さまのご指導、ご理解をいただきながら、子どもからお年寄りまで、地域で安心して暮らせ、誰もが誇りに思う、夢と希望にあふれた魅力あるまちづくりを全身全霊で進めてまいりました。

人口減少時代において、めまぐるしく変化する社会経済情勢への的確な対応や、子育て支援をはじめ、安全・安心対策の強化、医療体制の充実など、取り組むべき課題が山積する中において、市民の皆さまの生の声を直接お聴きするミニ対話集会を新たに始めるなど、市民に寄り添った市政運営の推進に努めているところです。

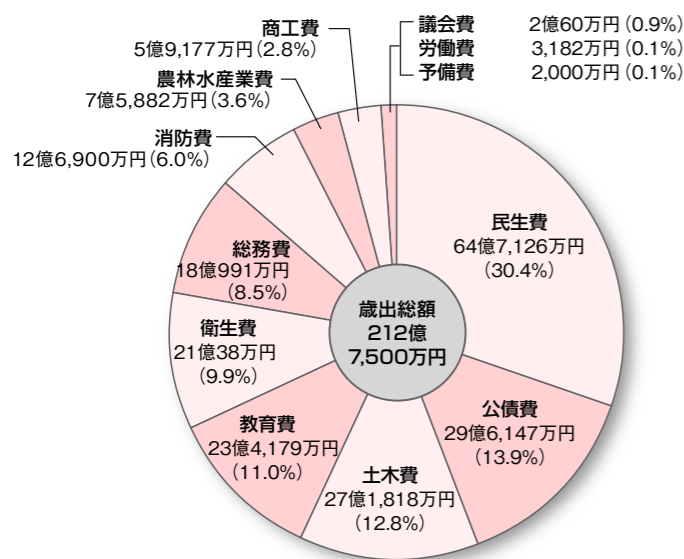
さらに、今後、行政、市民、関係団体等が一体となつて、二つの日本遺産や赤穂義士といった全国に誇るべき地域資源などを活用した、観光振興や地域活性化を図っていくなど、赤穂の更なる発展に向け全力で取り組んでまいりたいと考えています。

先般、国においては、消



# 歳出 >>>

歳入面では、地方消費税交付金の増収が見込まれるものの、市税をはじめ一般財源収入の伸びが期待できず、引き続き基金を取り崩さざるを得ない厳しい財政環境に置かれており、財政調整基金や都市施設等整備事業基金などの基金から、5億5,000万円を繰り入れることにより財源を確保しました。

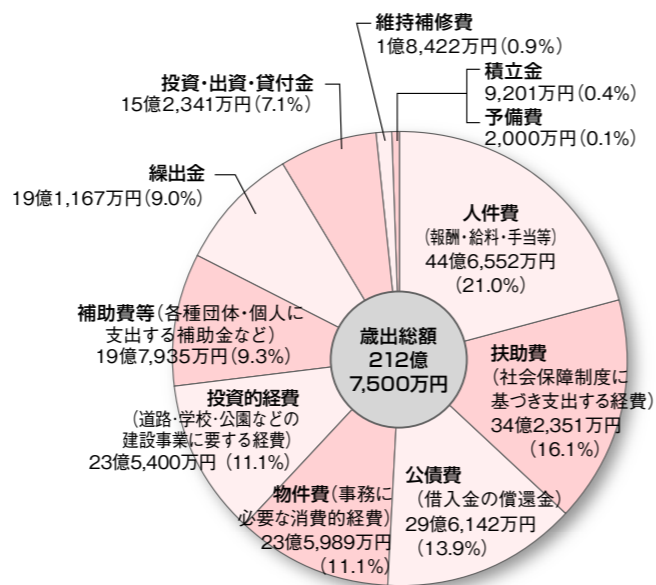


## 目的別内訳

各行政目的別、つまり各部課ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。

## 性質別内訳

経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



# 歳入 >>>

歳入面では、地方消費税交付金の増収が見込まれるものの、市税をはじめ一般財源収入の伸びが期待できず、引き続き基金を取り崩さざるを得ない厳しい財政環境に置かれており、財政調整基金や都市施設等整備事業基金などの基金から、5億5,000万円を繰り入れることにより財源を確保しました。

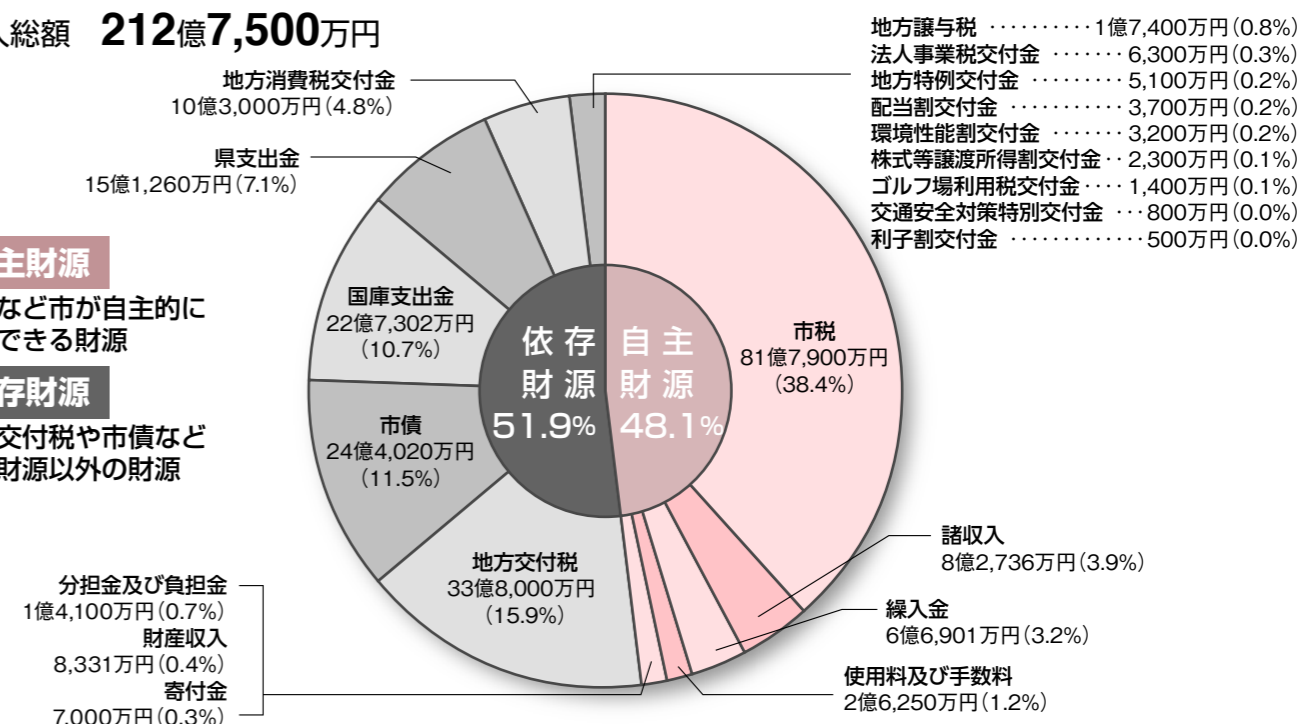
歳入総額 212億7,500万円

## 自主財源

市税など市が自主的に収入できる財源

## 依存財源

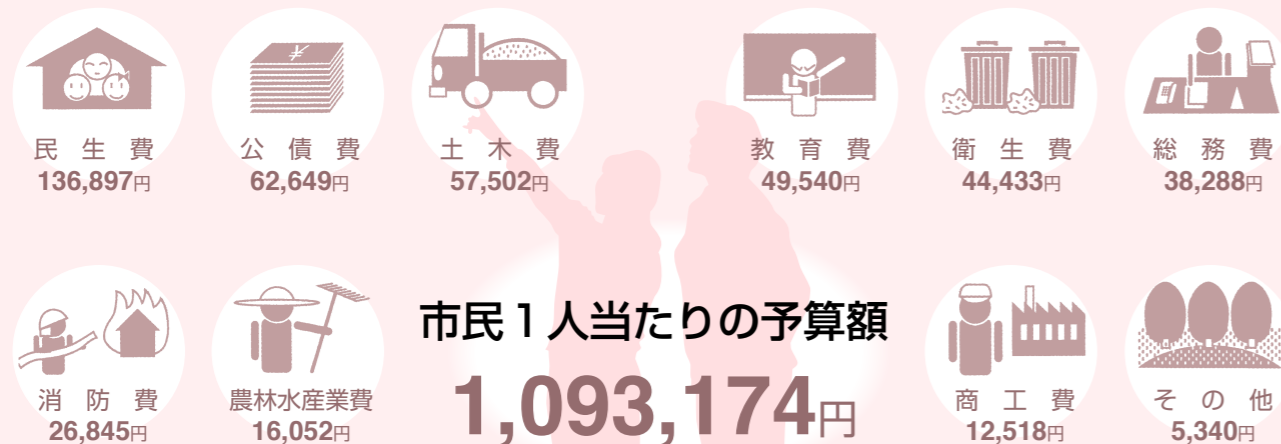
地方交付税や市債など自主財源以外の財源



# 212億7,500万円

令和2年度 一般会計予算

一般会計 450,064円

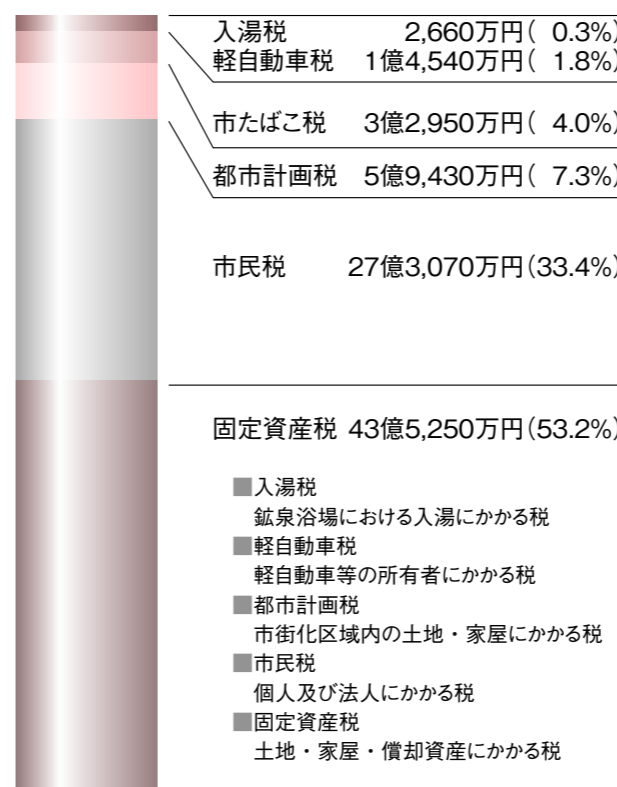


特別会計・企業会計(抜粋) 643,110円

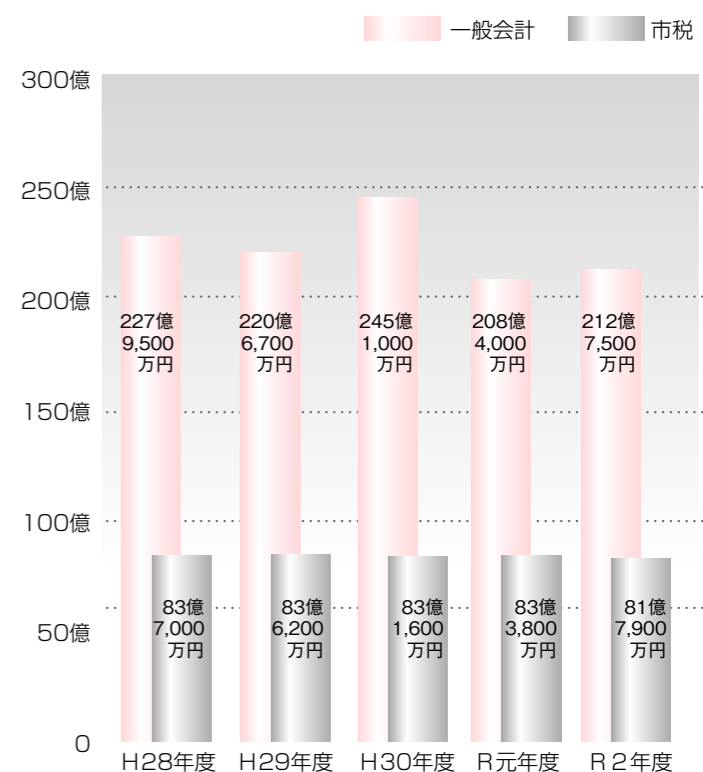


(令和2年2月末現在の人口47,271人で計算したものです)

市税の内訳 総額81億7,900万円



年度別当初予算額と市税の推移





# 5本の柱ごとの主要施策



## 第1の柱

### 安全・安心に

### 生活できる

### まちづくり

#### おもいやりに満ちた 福祉社会の構築

市民の皆さまが住み慣れた地域で孤立することなく安心して暮らし続けることができるよう、赤穂市地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会をはじめとする社会福祉法人や関係機関等との連携を深め、地域で相互に助け合う地域福祉活動を

推進します。

また、新たにひきこもり対策推進事業を実施し、ひきこもりの状態にあるご本人はもろること、ご家族等を支援するため、居場所づくりやひきこもりに対する理解の促進に取り組むほか、尾崎公民館にエレベータを整備するなど、人々にやさしい福祉のまちづくりを推進します。

児童福祉については、令和2年度をスタートとする第2期赤穂市子ども・子育て支援事業計画に基づき、次代を担う子どもたちが健康やかに育つことができる環

#### 保健・医療サービスの充実

健康づくりについては、市民の皆さまの生活習慣病予防及び健康寿命の延伸を目標とした第3次赤穂市健康増進計画に基づき、健康への意識啓発や各種がん検診など、生涯にわたる健康づくりを推進します。また、子どものインフルエンザ予防対策として、感染による重症化を防ぐため、接種費助成の対象を中学生まで拡大します。特に、高校受験等となる中学3年生については、1回3千円を限度として助成することにより、支援します。

## 施政方針にみる 新年度の主要施策と予算のあらまし

母子保健対策については、子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を提供します。また、妊婦健康診査費助成受診券の券種変更を行うほか、若年がん患者のうち治療により生殖機能が低下する恐れがあると診断された方を対象として、卵子などの凍結保存費用を助成します。産後ケア事業について

は、出産後の母子に対する心身のケアの充実を図るなど、よりきめ細やかな対応を図ります。

病院事業については、依然として厳しい経営状況ではありますがありますが、地域の中核病院として診療体制の一層の充実に取り組みほか、地域医療支援病院として、診療所など地域の医療機関との連携強化にも努めます。

市民の皆さまが、将来にわたって安心して適切な医療が受けられるよう、市役所内部に市民病院の在り方検討委員会を設置し、病院事業の経営改善等に取り組みます。

介護老人保健施設については、介護支援システムを活用したケアマネジメントの充実や施設利用者の安全・安心を確保するなど、在宅生活や在宅復帰を支援する施設として、その役割が果たせるよう努めます。

境づくりを推進します。そのため、こども食堂や学習支援の取組を助成し、子どもの居場所づくりを充実するとともに、複雑・困難化する児童虐待に的確に対応するため、児童虐待対応アドバイザーの配置などを行います。保育所の待機児童については、保育士の確保などを図り、その解消に向けて取り組みます。

また、引き続き子育て世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降を対象に幼稚園及び小・中学校の給食費無償化を実施するほか、保護者の子育てと就労の両立等を支援するため、病児・病後児保育事業を実施します。

母子家庭等に対しては、引き続き就業支援などを行うとともに、その他の各種子育て支援施策も継続して実施します。

障がい者福祉については、赤穂市障がい者福祉長期計画に基づき、障がい福祉サービスや就労支援を実施するとともに、障がいのある人が安心して地域で暮

#### 生活の安全・安心の確保

近年、全国各地で私たちがこれまで経験したことのない規模の自然災害が頻発しています。また、複雑・多様化する消費者問題、交通安全対策など、様々な課題が生じており、市民の皆さまの安全・安心に対する関心は一段と高まっています。

そのため、災害時の行動力の向上を目指して、引き続き地域の皆さまを中心とした自主防災組織による防災総合訓練などを実施するほか、赤穂市ハザードマップを全面改定のうえ、全戸配布するとともに、個別避難カードの作成を促すなど、地域における災害リスクの周知と防災意識の向上に努めます。

また、富原排水機場の排水能力を超える豪雨に対応するため、排水ポンプ車を配備し、緊急排水を行うことで被害の軽減及び拡大の防止を図るほか、引き続き簡易耐震診断や耐震改修工事などの事業補助を実施す

らせるよう、引き続き地域生活支援事業として相談支援事業、意思疎通支援事業や手話奉仕員養成研修事業などを実施します。

高齢者福祉については、高齢者が住み慣れた地域で健やかな生活を送ることができるよう、引き続き介護支援事業を実施するほか、いきいき百歳体操やフレイル予防などの介護予防事業を推進するとともに、認知症総合支援事業や生活支援体制整備事業などを実施し、多様な支え合いの仕組みづくりを推進します。

国民健康保険制度については、高齢化の進展や医療技術の高度化等の影響により医療費の更なる増加が見込まれますが、財政調整基金の活用により保険税率等を引き下げます。また、引き続き生活習慣病の予防対策や後発医薬品の使用促進等に取り組み、被保険者の健康増進と医療費の適正化に努めます。

介護保険制度については、第7期介護保険事業計画の最終年を迎え、介護



るなど、住宅の耐震化を促進し、南海トラフ地震をはじめとする地震対策を推進します。

消防体制については、救助工作車の更新や耐震性防火水槽の整備など、充実強化を図ります。非常備消防体制としては、第13分団詰所の新築工事のほか、第1分団消防ポンプ自動車の更新や、デジタル簡易無線機を配備します。

また、救急体制については、救急救命士2名を養成するとともに、上郡消防署の高規格救急車を更新し、救急業務の高度化を推進します。

消費者対策については、引き続き消費生活センター

サービス給付等の実態に対応したものとされており、引き続き介護予防、地域包括ケアシステムの推進に取り組みます。

後期高齢者医療制度については、兵庫県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料の徴収、各種申請の受付等、市民の皆さまの窓口としての役割を果たします。

生活困窮者対策については、引き続き一時生活支援事業や食料等支援事業を実施するとともに、就労・自立に向け支援します。人権文化の創造については、西播磨人権のつどいを開催し、人権意識の高揚を図るほか、赤穂市人権教育啓発基本計画に基づき、市民一人ひとりが、すべての人の人権を尊重することができる社会の構築に努めます。

による相談や啓発の充実に努めるとともに、消費者協会と連携し、消費生活上に取り組みます。

交通安全対策については、通学路・散歩コースの交差点緊急安全点検結果に基づき、防護柵等の安全設備を整備するとともに、スクールガードリーダーを2名から3名に増員し、登下校時の子どもたちの安全確保を図ります。また、引き続き高齢者の運転免許証自主返納を促進するほか、ペダル操作誤りによる事故防止安全装置設置経費の補助を行い、高齢ドライバーによる事故防止に努めます。





**施政方針にみる  
新年度の主要施策と予算のあらまし**

**第2の柱  
自然と共生する  
住みよい  
まちづくり**

**自然と共生するまちの形成**  
赤穂の豊かな自然環境や良好な生活環境を次代に継承するためには、市民、事業者、行政が一体となって連携・協力することが必要不可欠です。

生活環境については、引き続き大気や水質等に関する環境調査を実施し、市民の皆さまに情報提供や啓発活動を行います。なお、市内の産業廃棄物最終処分場建設計画については、反対の立場でその動向を注視し、議会をはじめ、関係自治体、産業廃棄物最終処分場建設反対赤穂市民の会等と連携して、適切に対応します。

下水道事業については、公共下水道の整備として、引き続き野中・砂子地区等における土地区画整理地区の管渠整備を進めるとも



に、坂越ポンプ場、御崎第2ポンプ場及び下水管理センターの施設整備等を実施します。また、農業集落排水事業については、有年権原地区と東有年地区の統合など、経営の効率化、合理化に努めます。

ごみ処理施設については、施設の適切な整備・運営により長寿命化を図るほか、ごみ処理の広域化については、引き続き相生市と連携して検討を進めます。



**魅力ある都市空間の形成**  
住環境の整備については、引き続き尾崎地区及び塩屋地区において、密集住宅市街地整備促進事業などを実施し、防災性と住環境の向上に努めます。

空家対策については、赤穂市空家等対策計画に基づき、危険空家の除却や略式代執行を見据えて取り組みとともに、空家活用に対し費用助成を継続実施し、



生活環境の改善と地域の活性化を図ります。

水道事業については、老朽化した管路の改良や配水施設の更新を計画的に進めます。また、水質安全対策として、北野中浄水場の紫外線処理設備工事を実施するとともに、(仮称)水道水源保護条例の制定に向け、検討を進めるなど、ハード・ソフトの両面において、引き続き安全でおいしい水の安定供給に努めます。



**質の高い都市機能の整備**  
土地区画整理事業については、有年地区、野中・砂子地区及び浜市地区において、保留地の販売や区画道路築造工事などに取り組み、事業の進捗を図ります。

**安全・安心に生活できるまち**

★印=新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

**おもいやりに満ちた福祉社会を築く**

**①みんなで支え合う地域福祉を進める**

- ★防災と福祉の連携促進モデル事業 ……20万円
- ★ひきこもり対策推進事業 ……190万円
- ・総合福祉会館整備事業 ……1,020万円
- ・福祉のまちづくり推進事業 ……5,800万円
- ★尾崎公民館エレベータ設置工事

**②子育てしやすい環境をつくる**

- ・アフタースクール子ども育成事業 ……5,600万円
- ・病児・病後児保育事業 ……820万円
- ★子どもの居場所づくり推進事業 ……75万円
- ・要保護児童対策地域協議会推進事業 ……69万円
- ★児童虐待対応アドバイザー配置ほか
- ・第3子いきいき子育て応援事業 ……639万円
- ・保育料軽減事業 ……868万円
- ★子どもの発達相談事業 ……10万円
- ・中学生第3子手当支給事業 ……270万円

**③障がい者が自立しやすい環境をつくる**

- ・障害者地域生活支援事業 ……6,680万円
- ★障がい福祉計画等策定事業 ……30万円

**④高齢者が安心して暮らせる環境をつくる**

- ・介護老人保健施設事業 ……3億1,844万円
- ・介護保険事業
- ▷保険給付 ……42億3,090万円
- ▷地域支援事業 ……3億4,309万円

**⑤社会保障制度を適切に運営する**

- ・生活困窮者支援事業 ……31万円
- ・被保護者就労支援事業 ……297万円
- ・生活困窮者自立支援事業 ……396万円
- ・国民健康保険税
- ★課税限度額・税率の改正

**⑥お互いが尊重し合えるまちをつくる**

- ・隣保館事業 ……226万円
- ▷教室開設ほか(174万円)
- ▷備品整備ほか(52万円)
- ・人権啓発事業 ……104万円
- ★西播磨人権のつどい開催経費 ……100万円

**保健・医療サービスを充実する**

**①生涯にわたる健康づくりを進める**

- ・予防接種費助成事業 ……760万円
- ★子どものインフルエンザ予防接種(対象者を中学生まで拡充)ほか

- ・育児健康支援事業 ……243万円
- ★産後ケア事業
- ・母子訪問指導 ……79万円
- ・健康診査費等助成事業 ……2,911万円
- ★妊婦健康診査(受診券の券種変更)(1,984万円)
- ▷妊婦歯科健康診査(33万円)
- ▷産婦健康診査(94万円)
- ▷新生児聴覚検査(75万円)
- ▷乳児健康診査(177万円)
- ▷特定不妊治療ほか(528万円)
- ★若年がん患者妊孕(にんよう)性温存治療(20万円)
- ②安心できる地域医療体制をつくる**
- ・救急医療情報システム事業負担金 ……91万円
- ▷兵庫県広域災害救急医療情報システム運営(37万円)
- ▷小児救急医療電話相談(54万円)
- ・市民病院整備事業 ……1億6,713万円

**生活の安全・安心を確保する**

**①災害に強いまちをつくる**

- ★防災ハザードマップ作成事業 ……900万円
- ・耐震改修促進事業 ……1,016万円
- ★排水機場湛水防除事業 ……5,000万円

**②消防・救急救助体制を充実する**

- ・消防団整備事業 ……733万円
- ★デジタル簡易無線機配備ほか
- ★消防団詰所整備事業(第13分団詰所新築工事) ……5,700万円
- ★通信指令設備整備事業 ……800万円

**③交通安全・防犯意識を高める**

- ・交通安全対策推進費 ……146万円
- ★高齢運転者交通事故防止対策の推進ほか
- ・地域サポート安全対策事業 ……206万円
- ★スクールガードリーダー3名配置ほか
- ・交通安全施設等整備事業 ……2,080万円
- ★交差点(通学路、散歩コース)ガードパイプ設置ほか
- ★公共灯LED化事業 ……850万円

**④消費生活の安全を守る**

- ・消費者行政活性化事業 ……553万円





対策、長寿命化のための基幹水利施設整備などを実施します。

観光振興については、赤穂観光アクションプログラムに基づき、観光協会をはじめ、J.R.、関係団体、近隣市町とも連携して観光情報を含め、観光客の誘致を図るとともに、DMOの設立に向け準備を進めます。

また、「日本第一」の塩を産したまち「播州赤穂」が日

本遺産に認定されたことを契機に、二つの日本遺産を観光資源として活用するための取組を推進します。さらに、国の地方創生推進交付金を活用した観光マーケティング推進事業等により、赤穂義士や温泉、グルメなど多彩な観光資源を有効に活用し、交流人口の拡大や観光振興を図り、地域経済が持続的に発展できるよう努めます。



地域間交流については、姉妹都市である笠間市及び山鹿市をはじめ、西尾市などとのスポーツ・文化活動を通じた交流を行うほか、全国の忠臣蔵ゆかりの自治体との交流を引き続き推進

### 多様な交流の推進

広域連携については、東播西播定住自立圏形成推進協議会や播磨圏域連携中核都市圏をはじめ、西播磨市町長会、兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会を通じて、近隣自治体との連携を図り、広域的な行政課題への対応に取り組ま

### 交流基盤の整備

交通弱者対策として、市内循環バス「ゆらのすけ」を本年1月から全路線について週3日運行に増便したほか、デマンドタクシー「うねのり愛号」や圏域バス「ていじゅうろう」を継続運行しています。市民の皆さまの意見等をお伺いしながら、地域交通として、その利便性の向上に努めます。

生活道路の整備については、塩屋野中線の歩道改良



国道2号や国道250号など広域幹線道路の整備促進及び事業化については、関係自治体との連携を図りながら、引き続き国、県に要望を行います。なお、国道250号高取峠トンネル化については、調査結果を踏まえ、相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会や議会の意見等も伺いながら要望内容を検討します。

## 自然と共生する住みよいまち

★印=新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

### 自然と共生するまちをつくる

#### ①豊かな自然環境を保全する

- ・森林・山村保全管理事業 ……5万円
- ・山地緑化事業 ……450万円
- ・赤穂ふれあいの森整備事業 ……280万円

#### ②さわやかな生活環境を保全する

- ・環境基本計画推進事業 ……490万円
- ★環境基本計画等改定ほか
- ・産業廃棄物最終処分場対策補助金 ……30万円
- ・下水道の整備 ……7億6,223万円
- ▷汚水管渠整備(野中・砂子土地区画整理地区ほか)
- ▷雨水渠整備(有年土地区画整理地区)
- ▷ポンプ場建設改良事業(坂越ポンプ場整備工事ほか)
- ▷処理場建設改良事業(赤穂下水管理センター水処理施設機械設備工事ほか)

#### ③地球環境にやさしいまちをつくる

- ・資源ごみ集団回収奨励事業 ……440万円
- ・ごみ処理施設整備事業 ……1億600万円

### 魅力ある都市空間を形成する

#### ①快適な住環境をつくる

- ・空家等対策事業 ……2,480万円
- ▷危険空家除却費補助ほか

▷空家活用支援事業補助

▷古民家再生促進支援事業補助

★特定空家解体撤去等に係る略式代執行

・上水道の整備 ……6億7,277万円

#### ②水とみどり豊かな都市環境をつくる

・都市公園整備事業 ……460万円

・都市公園安全・安心対策事業 ……750万円

#### ③自然・歴史・文化と調和した景観をつくる

・快適環境推進事業 ……20万円

・都市景観形成助成事業 ……200万円

### 質の高い都市機能を整備する

#### ①土地の利活用を適正に進める

・地籍調査事業 ……1,180万円

#### ②良好な市街地の整備を進める

・レンタサイクル事業 ……172万円

▷坂越駅前 10台 300円

▷有年駅前 5台 300円

・土地区画整理事業 ……2億9,120万円

▷有年地区(区画道路築造工事ほか1億8,860万円)

▷野中・砂子地区(組合補助金ほか8,260万円)

▷浜市地区(市助成金2,000万円)

## 第3の柱

### 産業と交流が盛んな活力のあるまちづくり

#### 活力ある産業の形成

地域産業の振興と雇用の場を確保するため、企業の本社機能を赤穂市内に移す立地支援を行うほか、工場立地促進条例に基づく立地企業への支援継続などにより設備投資の促進を図るとともに、企業誘致に取り組みます。また、日本遺産の認定を契機とし、県立赤穂海浜公園塩の国のかん水を活用した塩ブランド事業を推進し、地域経済の活性化につなげます。

なお、山陽自動車道赤穂インター周辺地区の土地利用については、地元の意向も踏まえながら、民間開発手法などについて検討を進めます。

商業振興については、引き続き商工会議所等と連携し、商業の活性化と地域のにぎわいづくりを推進しま



農林水産業の振興については、新規就農者や認定農業者等の担い手確保に引き続き取り組むほか、赤穂市漁業協同組合、JA兵庫西等、関係機関と連携しながら、牡蠣、ミカン等の地場産品について赤穂ブランドの推進に取り組みます。また、JA兵庫西が所有する西部地区管内のライスセンターを赤穂ライスセンターに再編・増強することに対し支援するとともに、引き続き農業用施設の防災減災

事業などを行うほか、赤穂市橋梁長寿命化修繕計画に基づき上菅生橋などの橋梁修繕や、舗装修繕工事を適宜実施します。

また、赤穂大橋線に係る用地買収や物件移転補償事業などに取り組み、都市計画道路の整備を推進します。



教育環境については、赤穂市教育振興基本計画に基づき、「夢と志を育む教育」の創造をめざし、総合的・計画的に整備します。

幼児教育については、幼児を持つ家庭や地域との連携を深めるとともに、幼児の「生きる力」の基礎を育み、一人ひとりの発達や特性に応じたきめ細やかな教育を充実します。

義務教育については、校内研修等を通じて教職員の資質と指導力の向上を図ることにより、児童生徒に基礎的・基本的内容を確実に定着させるなど、学力向上をめざす教育活動の充実に努めます。

児童生徒の学びについては、新学習指導要領の趣旨に基づき、主体的・対話的で深い学びによる学習指導

## 第4の柱 生涯にわたる 夢を育む まちづくり

### 教育環境の整備

を通して、各学校での取組の充実を図ります。特に、外国語教育については、小学校の中学年で「外国語活動」、高学年で「外国語科」が導入されるため、新たに小学校英語専科指導教員を配置するとともに、外国人指導助手(ALT)の効果的な活用を図りながら、小・中学校で一貫した外国語の学びができるよう、教育研究所の指導体制の充実を図ります。さらに、中学校の部活動については、外部指導員を増員し、活性化に取り組みます。

特別支援教育については、特別支援教育指導補助員の活用やタブレットを用いた効果的な授業づくりの実践など、一人ひとりの障がい特性に応じたきめ細やかで適切な指導を受けることができるよう、学習環境の充実を図ります。また、医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する学校に看護師を配置し、適切な支援を行います。

地域に開かれた学校園づくりについては、特色ある

生涯学習・スポーツ活動の推進

生涯学習活動については、中央公民館や各地区公民館を拠点として、各種講



学校づくり推進事業、トライやる・ウィーク推進事業、環境体験事業などを通して地域との絆を深めるとともに、コミュニティ・スクールの充実と推進を図ります。

安全・安心の確保及び若い力の健全育成については、青少年育成推進委員や学校サポートチーム及び関西福祉大学をはじめとする関係機関との連携を図りながら、スクールカウンセラーや心の教室相談員の配置、スクールソーシャルワーカーの派遣による教育相談活動の充実に努めます。

座を開催するなど、引き続き体系的な生涯学習の場を提供するとともに、子育て学習センターを中心として、子育て悩み相談の充実や子育てグループの育成に努めます。

生涯学習環境については、尾崎公民館にエレベータを設置するほか、市民会館や各地区公民館に設備・備品等を設置するなど、計画的な整備に努めます。

図書館については、赤穂市子ども読書活動推進計画に基づき、絵本講座やブックスタート事業などの読書活動事業を実施するほか、電子書籍の充実やブック宅配サービスにより、引き続き読書環境の整備に努めます。

スポーツ活動については、赤穂市スポーツ推進計画に基づく事業を効率的・効果的に実施し、誰もが、いつでも、どこでも、いつでもできる活動の場と機会の充実を図るとともに、スポーツ全国大会等出場激励金交付制度を創設し、体育



振興を推進します。

生涯スポーツについては、体育協会をはじめ関係スポーツ団体と連携し、市民総合体育祭や各種スポーツ大会の開催などを支援するほか、地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。

また、スポーツの振興と交流人口の拡大を図るため、全国各地から選手等が参加する忠臣蔵旗少年剣道大会や赤穂義士杯青少年柔道大会、市長旗争奪少年野球大会などを引き続き支援するほか、開催10周年を迎える赤穂シテイマラソン記念大会や各種県民大会などの広域大会の開催を通じて、交流人口の拡大を図り、スポーツによる元気なまちづくりを推進するとともに、忠臣蔵のふるさと播州赤穂を全国に発信し、地域の活性化に努めます。

## 産業と交流が盛んな活力のあるまち

★印=新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

### 活力ある産業を形成する

- ①地域産業を振興する
  - ・企業立地促進事業 ……1億3,276万円
- ②商業の振興を図る
  - ・中心市街地にぎわいづくり事業 ……520万円
  - ▷加里屋さんもく楽市事業補助
  - ▷赤穂情報物産館運営事業補助
  - ▷市街地にぎわいづくり事業補助
  - ・中小企業経営安定金融融資事業 ……1億8,400万円
  - ・駐車場事業 ……1,358万円
- ③地場産品を使った赤穂の魅力を創出する
  - ・地産地消推進事業 ……144万円
  - ・赤穂ブランド推進事業 ……86万円
  - ★地理的表示(GI)保護制度登録経費補助
  - ★赤穂ブランド育成支援モデル事業補助ほか
  - ・しおブランド化推進事業 ……61万円
  - ★赤穂かん水塩(仮称)意匠登録ほか
- ④農業・漁業を活性化する
  - ・経営体育成支援事業 ……3億1,565万円
  - ★産業競争力強化総合対策事業(赤穂ライスセンター増強支援)ほか
  - ・農地・水保全管理事業 ……5,190万円
  - ・農村地域防災減災事業 ……4,824万円
- ⑤観光の振興を図る
  - ・義士祭奉賛会補助金 ……2,280万円
  - ・観光アクションプログラム推進事業 ……864万円
  - ▷観光キャンペーン事業(202万円)
  - ▷観光協会事業補助(174万円)
  - ▷観光イベント補助(260万円)
  - ▷観光ボランティアガイド育成事業(15万円)
  - ▷観光客おもてなし事業(163万円)
  - ▷JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議負担金(50万円)
  - ★観光マーケティング推進事業 ……5,593万円
  - ▷DMO設立事業(952万円)
  - ▷ICT活用による情報発信ほか(2,860万円)

- ▷観光関連事業者支援事業ほか(1,781万円)
- ★日本遺産推進事業 ……850万円
- ・観光施設整備事業 ……550万円
- ⑥就労環境を充実する
  - ・高齢者就業機会確保事業 ……1,472万円
  - ・労働施設整備事業 ……100万円

### 多様な交流を推進する

- ①近隣市町村との広域連携を進める
  - ・定住自立圏構想推進経費 ……400万円
- ②特色ある地域間交流を進める
  - ・義士親善友好都市交流事業 ……127万円
- ③国際理解を深める
  - ・グローバル化教育推進事業 ……1,973万円
- ④定住を促進する
  - ・定住支援推進事業 ……3,050万円
  - ・東京あこうのつどい開催経費 ……203万円

### 交流基盤を整備する

- ①公共交通の利便性を確保する
  - ・市内循環バス運行事業 ……1,840万円
  - ・デマンドタクシー運行事業 ……360万円
- ②利便性の高い道路網を構築する
  - ・都市計画街路事業 ……1億1,270万円
  - ・生活道路整備 ……3億9,550万円

### 地域情報化を推進する

- ①地域情報化を推進する
  - ・高度情報化推進事業 ……1億2,040万円
  - ・情報教育推進事業 ……9,364万円
  - ・議会情報化推進事業 ……412万円
  - ★スマートフォン、タブレットに対応した議会ライブ配信ほか



地域情報化の推進

行政事務の情報化については、マイナンバーカードの取得を促進し、マイナンバーを活用した情報連携などにより、利便性向上と更なる効率化を図るとともに、県と共同で高度な情報セキュリティ対策を行い、個人情報保護対策に万全を期します。



**施政方針にみる  
新年度の主要施策と予算のあらまし**

ズを的確に把握し、地域の諸課題を解決していくためには、市民の皆さまをはじめ、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりが必要不可欠です。

このため、市政全般において、赤穂市個人情報保護条例及び情報公開条例の適正な運用に努めるほか、パブリックコメントの実施や審議会等委員の公募など、市民参加の機会を設けます。

また、関西福祉大学とは、引き続きインターシップ制度や赤穂学の講義を通じて、学生に市政への関心を持ってもらえるよう、促していくとともに、関西福祉大学大学院において学ぶ意欲のある本市職員に対し研修助成を行い、時代の要請に的確に対応できる人材を養成するなど、連携に努めます。

行政情報の提供については、広報あこうや早かこセミナーのほか、ホームページ、SNS、動画配信など様々な情報媒体の特性を活かした広報活動を通じ、市民の皆さまとの情報の共有化に努めます。また、ミニ二対話集会を引

**個性ある地域文化の創造**

歴史資源の保全・整備については、文化財保存整備事業として、引き続き赤穂城跡二之丸の石垣整備などを行うほか、埋蔵文化財調査や文化財の説明標柱等の改修を進めます。

歴史・伝統文化の保存・活用については、図説赤穂市史の編集や市史史料集の発刊のほか、赤穂城跡の魅力を生かした映像制作など文化財の積極的な公開と活用により、観光客を誘致できるように、情報発信に努めます。

歴史博物館においては、(仮称)「日本遺産認定記念 塩のまち赤穂〜日本遺産構成文化財〜」展を開催するほか、美術工芸館においては、赤穂にゆかりのある劇作家平田オリザ氏にまつわる特別展を開催します。

文化会館については、市民の皆さまの多様なニーズに応え、文化芸術活動の拠点施設として多くの方々に利用いただく交流の場となるよう、運営に努めます。

鑑賞事業としては、松竹大歌舞伎や赤穂寄席などを開催するほか、市民参加型事業として、引き続き吹奏楽・金管バンドの祭典やフェスタ・アルモニカ・イン・アコウを実施するとともに、弦楽教室や吹奏楽教室を継続実施するなど、文化芸術活動の振興と奨励を図ります。

なお、文化団体とも連携しながら、市民文化祭や美術展などを開催するほか、様々な文化芸術活動に対し支援します。

ル・ボン国際音楽祭については、引き続き市民の皆さまにクラシック音楽を気軽に楽しんでもらうとともに、赤穂の名を広く国内外に発信し、交流人口の拡大により地域の活性化につなげます。

**第5の柱  
市民と行政が  
ともに歩む  
まちづくり**

市民との協働  
複雑・多様化する市民ニ

引き続き実施するなど、市民と行政とが共に歩む、開かれた市政を推進します。

男女共同参画社会づくりについては、赤穂市男女共同参画社会づくり条例及び男女共同参画プランに基づき、今後とも全庁的に取り組みます。

また、令和3年度をスタートとする2030赤穂市総合計画については、総合計画審議会を開催するとともに、議会をはじめ、多くの方々のご意見を頂戴しながら、策定作業を進めます。

**多様なコミュニティ活動の活性化**

まちづくり活動の推進については、それぞれの地域の特色を活かした地区まちづくりビジョンを実現するため、各地区における自発的なまちづくり活動を支援します。

**健全で効率的な行財政運営**

本市の財政環境は、依然として基金を取り崩さざるを得ない状況が続いています。さらに、病院事業の経営状況が逼迫する中で、持続可能な行財政運営を確立しながら、市

**生涯にわたり夢を育むまち**

★印＝新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

**教育環境を整える**

- ①**幼児・義務教育を充実する**
  - ★教育振興基本計画検討事業 ……65万円
  - ・特色ある学校づくり推進事業 ……384万円
  - ・心いきいき推進事業 ……1,410万円
  - ★新学習指導要領対応教材整備事業 ……450万円
  - ・部活動活性化推進事業 ……487万円
  - ★部活動指導員配置 6部
  - ▷部活動指導補助員配置 2部
  - ▷ICT部活動支援 1部
  - ★子どもの発達相談事業 ……22万円
  - ・学校給食費補助金 ……1,780万円
  - ▷無償化対象 幼・小・中 439人
  - ・3歳児保育施設等整備事業 ……100万円
  - ・給食センター整備事業 ……2,240万円
- ②**特別支援教育を充実する**
  - ・特別支援教育推進事業 ……2,978万円
  - ★臨床心理士による児童、生徒の発達相談
  - ★医療的ケア支援
  - ・特別支援教育事業 ……3,030万円
- ③**信頼される学校園づくりを進める**
  - ・「トライやる・ウィーク」推進事業 ……251万円
  - ・環境体験事業 ……161万円
- ④**若い力を健全に育成する**
  - ・青少年健全育成推進事業 ……191万円
  - ・青少年育成センター等整備事業 ……1,120万円

**生涯学習・スポーツ活動を推進する**

- ①**生涯学習を充実する**
  - ・子育て学習活動推進事業 ……383万円
  - ・公民館活動の充実 ……693万円
  - ・高齢者にやさしい公民館づくり事業 ……70万円
  - ・市民会館整備事業 ……790万円
- ②**スポーツ活動を推進する**
  - ・市民総合体育館及び城南緑地運動施設等管理委託金 ……6,294万円
  - ・スポーツ推進計画促進事業 ……32万円
  - ★スポーツ推進計画見直し、作成ほか
  - ・忠臣蔵旗少年剣道大会(第32回大会) ……200万円
  - ・赤穂シニアマラソン大会開催経費(第10回) ……1,600万円
  - ★スポーツ全国大会等出場激励金交付事業 ……14万円

**個性ある地域文化を創造する**

- ①**歴史・伝統文化を継承し活用する**
  - ・地域文化財調査事業 ……485万円
  - ★赤穂城跡映像制作ほか
  - ・文化財保存整備事業 ……4,560万円
  - ・歴史博物館整備事業 ……210万円
  - ・海洋科学館整備事業 ……1,580万円
- ②**文化芸術活動を推進する**
  - ・文化会館自主事業助成(文化とみどり財団補助) 2,200万円
  - ・赤穂国際音楽祭開催事業 700万円
  - ・文化会館整備事業 8,360万円

**市民と行政がともに歩むまち** ★印＝新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

**市民との協働を推進する**

- ①**開かれた市政を推進する**
  - ・高等教育機関連携推進事業 ……18万円
  - ・職員大学院派遣研修事業 ……89万円
  - ★市制70周年記念事業推進経費 ……70万円
- ②**市民と行政の情報共有化を進める**
  - ・広報の充実 ……928万円
- ③**男女共同参画社会を築く**
  - ・男女共同参画社会づくり推進事業 ……207万円

**多様なコミュニティ活動を活性化**

- ①**多様なコミュニティ活動を活性化**
  - ・まちづくり振興協会補助金 ……420万円
  - ・地区まちづくり支援事業 ……731万円

**健全で効率的な行財政運営を行う**

- ①**健全で効率的な行財政運営を行う**
  - ・使用料・手数料等審議会開催経費 ……43万円
  - ・ふるさとづくり寄付金推進事業 ……3,500万円
  - ・総合計画推進事業 ……1,590万円
  - ★市議会議員選挙 ……1,170万円
  - ▷令和3年4月8日 任期満了

民の皆さまのニーズに的確に対応した質の高い行政サービスを提供していくためには、行財政改革を強力に推進する必要があります。そのため、特別職の給料及び管理職手当の減額のほか、使用料・手数料等審議会を開催し、受益者負担の適正化に努めます。

また、限られた人員を有効に活用し、市民の皆さまにとって分かりやすく、効率的な組織体制に再編する機構改革を実施するとともに、職員一人ひとりが高い倫理観と強い使命感・責任感のもと、常にコスト意識と経営感覚を持ち、新しい変化に的確に対応し、変革と創造に立ち向かう力を身につけることができる人材の育成と、職場環境を整備します。

性のある防止策を検討するなど、再発防止への取組を進めてまいります。一度失った信頼を一朝一夕に回復することは容易ではありませんが、全職員が一丸となって、一日も早い市政の信頼回復に全力で取り組んでまいります。

この一年、未来への展望を次代へと継承するため、将来を見据えた中長期的な視点と、戦略的な発想をもって、多くの課題に積極的に取り組んでまいりますので、段階のご理解とご協力をお願いいたします。



# 写真で見る予算

## 総合計画推進事業



事業費 **1,590万円**  
一般財源 **1,590万円**

これからの人口減少・少子高齢化問題などをはじめとした様々な課題に対応するために、令和3年度からの10年間で取り組むべき、まちづくりの方向性を示す「2030 赤穂市総合計画」を策定します。

## ひきこもり対策推進事業



事業費 **190万円**  
国庫支出金 **95万円**  
一般財源 **95万円**

居場所づくりを行うなど、ひきこもりの状態にある本人やその家族等を支援するほか、市民向け講座を開催するなど、ひきこもりに関する理解促進を図ります。

## 健康診査費等助成事業



事業費 **2,911万円**  
国庫支出金 **45万円**  
県支出金 **10万円**  
一般財源 **2,856万円**

妊婦健康診査に係る受診券の券種を変更し、利便性を高めるほか、がん治療により生殖機能が低下又は失われる恐れがあると診断された43歳未満の方を対象に、卵子などの凍結保存費用の一部を助成します。

## 予防接種費助成事業



事業費 **760万円**  
県支出金 **322万円**  
一般財源 **438万円**

子どものインフルエンザ予防接種費助成の対象を、これまでの小学6年生から中学3年生まで拡大し、特に、高校受験等を控える中学3年生については、1回3千円を限度として助成します。

## 観光マーケティング推進事業

事業費 **5,593万円**  
国庫支出金 **2,796万円**  
一般財源ほか **2,797万円**



国の地方創生推進交付金を活用し、赤穂市がもつ多彩な観光資源を有効に活用するために、DMOの設立準備やICT活用による情報発信など、マーケティングに基づいた戦略的な観光施策を実施します。

## 日本遺産推進事業

事業費 **850万円**  
一般財源ほか **850万円**



昨年5月に『日本第一』の塩を産したまち播州赤穂』のストーリーが日本遺産に認定されたことを受け、平成30年度に認定された北前船とともに、二つの日本遺産を地域資源として地域活性化や観光振興に有効活用します。

## 防災ハザードマップ作成事業

事業費 **900万円**  
国庫支出金 **300万円**  
一般財源ほか **600万円**



県による各種災害の被害想定の見直しを受け、小学校区ごとに作成しているハザードマップを改定し、全戸配布することによって、危険区域の周知を図り、避難行動に役立てます。

## 地域文化財調査事業

事業費 **485万円**  
県支出金 **150万円**  
一般財源ほか **335万円**



赤穂城跡の魅力を国内外に広くPRするため、多言語による解説ビデオを制作するなど、文化財の積極的な公開と活用、情報発信に努めます。